



風が心地よく、爽やかな季節となりました。束の間かも知れませんが、しっかり味わっております。

さて、4月24日の参観日には、多くの保護者の方が学校に足を運んでくださり、ありがとうございました。授業参観、PTA総会、学年懇談と温かな雰囲気の中、参観日を行うことができました。PTA総会でお話しさせていただいたことを、簡単に記させていただきます。



今年度も三石小学校は、「笑顔あふれる学校」と「生きる力の育成」を大きな目標に掲げています。子どもたちの笑顔があふれるためには、まず日々の学習が「楽しくて分かる」ものでなければなりません。また、自分の良さを認められる「自己肯定感を高める活動」を大切にし、どの子も安心して自分を出せる土壌を作っていきます。

そして、これからの時代をたくましく歩む「生きる力」を育むために、今年は特に「主体的な活動」に力を入れます。合い言葉は「自ら」「自分事」「前のめり」です。誰かに言われてするのではなく、自分たちの課題として前のめりに取り組む姿勢を育てたいと考えています。その鍵となるのが「話し合い活動」です。多様な意見に触れて考えを「広め」、本質を「深め」、納得できる答えを見つけるために「折り合いをつける」。こうした経験の積み重ねが一生の財産となるはずです。

一方で、三石小学校にとって「地域学習」は、切り離せない大切な柱です。

これまでの「地域を学ぶ」から一步踏み出し、実際に「地域で学ぶ」へ。地域の人から教わるだけでなく、その生き方や想いに触れる「地域の人に学ぶ」姿をめざします。その中で大切にしたいのが、地域への「貢献」の形です。高学年が自ら「はたらきかける」姿はもちろん立派な貢献ですが、低学年や中学年の子も達が地域行事に「参加する」こと、地域の方々と「かかわる」ことも、地域を活気づける立派な貢献のひとつだと私たちは考えています。子ども達の元気なあいさつや地域に飛び込んでいく姿そのものが三石地区の活力になります。自分たちの成長に合わせて、少しずつ地域とのつながりを深め、いつか自ら動ける存在へ。そんなステップを大切にしながら、地域とともに歩む子ども達を育ててまいります。

これ以外にも、「PTAの必要性」「新体操服」「ボランティア登録」「複式学級」「働き方改革」「広報誌（愛宕）」「コミュニティ・スクール」についても話しました。もっと詳しく知りたいということがあれば、遠慮なく校長までお問い合わせください。

長々とすみませんでした。